

2025年1月31日

担当 非常勤講師 高島 敏郎

問題1： 越前和紙の和紙工芸作家である甲は、X県で開催されるイベントの主催者から依頼されて、下の写真のようなデザインの和紙ランタンを創作し、イベント会場の回廊に展示した。

数か月後、甲は、ネットショップで甲の和紙ランタンと同じデザインの和紙ランタンが販売されていることを知った。調べたところ、製造販売元は、Y県の和紙業者乙であることが判明した。甲は、この和紙ランタンについて意匠登録はしていなかった。この場合、甲は乙に対して著作権侵害を主張することが可能か？ 主張できる場合とできない場合に分けて説明せよ（30点）。＜キーワード：著作物性、工芸品、機能性＞



問題 2 : 特許となるための要件を少なくとも 8 つ挙げ、それぞれについて説明せよ。(15 点)

問題 3 : 特許出願は、どのように処理又は手続を経て最終処分（特許又は拒絶）されるか、時系列的に説明せよ。(15 点)